

プログラム名：好きな色はどこにある ― 自然の中の色探し

NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

■プログラムの概要

ねらい	自然の中の色の多様性と、その色を選んだ友達の多様な嗜好に気づく。		
目標	- 動物の擬態や保護色を知り、生き物が外敵から身を守ったり、えさを取ったりするための工夫に気づく。 - 友達の好きな色と一緒に探すことで、互いに嗜好を知ったり、その色のよさを共感したりする。 - 色探しを通じて、自然界に存在する色としない色との違いを考える。 - 好きな色を起点に校庭への愛着を深めたり、季節の移り変わりによる変化など自然を観察する視点を身につけたりする。		
分野	自然・アメニティ分野		
対象	小学校低学年～小学校中学年		
主な教科	生活・理科・総合的な学習の時間		
時間	2 単位時間（90 分）	実施場所	校庭等
使用するもの	- カモフラージュで隠す人工物（様々な質感、色合いのものを用意） - ロープ（10m 程度・1 本） - 色探しカード - 色カード（100 色程度あると良い） - 振り返りシート - 筆記用具・のり（全員がひとつずつ） - バンダナ（グループでひとつずつ）		
全体の流れ	1. 自然の中に隠された人工物を探すカモフラージュの活動を行う。隠された人工物を探す作業を2回ほど繰り返した後、動物の擬態について本を用いて説明する。 2. 好きな色の色カードを選び、グループごとに色探しカードを作成する。 3. 色探しカードを持ち、グループごとに校庭での色探しをする。 4. 自分の好きな色が校庭のどんなところにあったのか、全児童がクラスの友達に紹介する。 5. 本時の活動を通じて、自然の中の色や友達の好きな色などについて感想を、代表の児童が発表する。		
関連プログラム・事例	ネイチャーゲーム指導員ハンドブック アクティビティ編 P.130（プログラム No.93 「森の色あわせ」） 同 P.78（プログラム No.9 「カモフラージュ」）		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
00-05	導入（自己紹介・授業の流れの説明等）	
05-40	カモフラージュの活動を行う。 - 校庭の決められた場所で、自然の中に隠された人工物を探し、見つけた数を指導者に伝える。（2回繰り返す。） - 答えあわせの後、どのような色・質感のものが見つかりにくいかを考える。 - 擬態についての本を見せる。	1人ずつ順番に探しに行くこと、触ったり声に出したりすることなく数えることなどを指示する。 指導者は人工物を隠した個数・場所を把握し、答えあわせを行う。 生き物の工夫に目を向けつつ、自然の中の色に興味を向けさせる。
40-50	グループに分かれ、色探しカードを作る。 各自が好きな色を4色ずつ貼る。	グループは3～4人とする。 時間に余裕がある場合には、完成したカードを見て、それぞれの色が校庭のどの辺りにありそうか話し合う。
50-55	休憩	
55-75	グループで色探しをする。 - 見つけた場所などをメモする。 - 見つけたもので持ってこられそうなものはバンダナに入れて持ってくる。	グループがまとまって動き、色の確認を一緒にするように指示する。 遊具等の色ではなく、自然の中にあるものから探すように伝える。 見つからない色がある場合には、先に見つかりそうな色を探すように伝える。 グループの中に好きな色を一つも見つけれない児童がいないように留意する。 見つけた物を持ってくる際、生えている植物などは持っていないように指導する。
75-90	全児童がクラスの前で自分の好きな色が校庭のどの場所にあったかを紹介する。（グループごと。各1色ずつ。）	見つからなかった色に関しては、校庭の環境や季節等の影響があることに注意する。
90-95	代表者が全体（学年全体またはクラス）の前で感想を発表する。	完成した色探しカードは教室等に掲示してもらい、他の班とも共有する。

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
人工物	20 程度	カモフラージュ用。様々な質感・色合いのものを用意する。
ロープ	1 本	カモフラージュ用。隠す場所の目印として用いる。
色探しカード	児童数	
色カード	児童数	色数の多い折り紙等を切って利用する。 授業時に選択するため、余分に用意する。
振り返りカード	児童数	授業終了後に記入する。
筆記用具・のり	児童ごと	色探しカード作成・色探しの際に使用する。
バンダナ	グループごと	色探しの時に見つけたものを入れる。

■実施にあたって留意する点

- ・カモフラージュでは、授業前に指導の場所にロープ等で目印を示し、その中に人工物を隠す。
その際、隠した場所の記録をとっておくと良い。また、極力周辺にあるゴミなどなくしておくようにする。
- ・色探しカードは、校庭にない色があることを想定して各 4 色選ぶこととした。グループ内で出来る限り色が分散するように、同系色も複数の種類がある色カードを用意することが望ましい。

■参考資料

【色探しカード 見本（B6版）】

いろさが	
色探しカード	
ねん 年	くみ 組
なまえ 名前	はん 班
①	
②	
③	
④	
カードの使い方	
1. ①～④に好きな色の紙を選んで、のりではる。	
2. 自然の中で選んだ色を見つけたら、どこにあったかを書いておく。（持ってこられるものは、バンダナの袋に入れてくる）	